

2024年9月10日

課題名：頸椎後方除圧固定術における予防的椎間関節切除のC5麻痺発症予防に関する後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、頸椎後方除圧固定術における術後のC5麻痺（僧帽筋、上腕二頭筋麻痺による上肢挙上困難）について調べています。本研究では、頸椎後方除圧固定術における椎間関節切除を併用することで術後C5麻痺発症予防を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013年4月から、2024年1月までの間に、頸椎症性脊髄症または頸椎後縦靱帯骨化症であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、病名、フォロー期間、固定椎間数、手術日、使用インプラント、facetectomyの有無、C5麻痺と側性、C5麻痺後改善が得られたか、MMT、術前C4/5椎間孔径、脊髄後方シフト量、C3/4、C4/5髄内輝度変化、C2-7前弯角、C4/5局所前弯角、C2-7SVA (sagittal vertical axis)

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024/10/15

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録、画像検査データを利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
整形外科 研究責任者           中村悠佑

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明